

# 総務省における地域包括ケア関連の取組について

令和5年9月

総務省四国総合通信局

## 1. “誰ひとり取り残されないデジタル化”の推進

～ 総務省「デジタル活用支援推進事業」について

- 「デジタル活用支援推進事業」の概要 … 3
- 「デジタル活用支援推進事業」(講師派遣型)のスキーム … 4
- 四国管内における「デジタル活用支援推進事業」の実施状況 … 5
- ポータルサイト、講座の例 … 6
- 参考:インターネットの利用状況、医療・介護分野におけるICTを活用した情報共有の事例 … 8
- 参考:デジタル活用支援推進事業関連の政府方針 …10

## 2. 医療・ヘルスケア分野におけるICT活用の推進

～ 総務省「地域デジタル基盤活用推進事業」等の採択事例について

- 四国管内における医療・ヘルスケア分野のICT利活用事例（総務省事業採択事例） …13
- 令和4年度 『地域課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証』採択事例 …14
- 令和5年度 『地域デジタル基盤活用推進事業』採択事例 …15

# 1. “誰ひとり取り残されないデジタル化”の推進

～ 総務省「デジタル活用支援推進事業」について

# 「デジタル活用支援推進事業」の概要

- 高齢者等のデジタル活用の不安解消に向けて、スマートフォンを利用したオンライン行政手続等に対する助言・相談等を行う「講習会」を、令和3年度から全国の携帯ショップ等で実施（国費10/10補助、上限あり）  
（講習会の例：マイナンバーカードの申請方法/マイナポータル、e-Tax、オンライン診療の使い方/スマートフォンの基本操作/インターネットの利用方法など）
- 令和3～7年度の5年間での実施を想定し、5年度以降は携帯ショップがない市町村(759市町村(※))などでの講習会を拡充（※令和5年4月1日集計）

＜令和3年度＞

令和2年度補正予算  
9.3億円



＜令和4年度＞

令和4年度当初予算 16.7億円  
令和3年度第1次補正予算 3.3億円



＜令和5年度＞

令和4年度補正予算  
40億円

## 携帯キャリア等（都市部等）

令和3年度～  
講習会(全国展開型)



講習会等を行う拠点を全国に有しており、当該拠点で支援を実施する主体（携帯ショップを想定）

令和5年度は実施箇所数を拡充

## 地域に根差した支援（地方）

令和3年度～  
講習会(地域連携型)



地方公共団体と連携して、公民館等の公共的な場所で支援を実施する主体（地元ICT企業、社会福祉協議会等）

令和5年度は携帯ショップがない市町村などでの講習会を拡充

令和4年度～  
デジタル活用支援推進事業講師の派遣

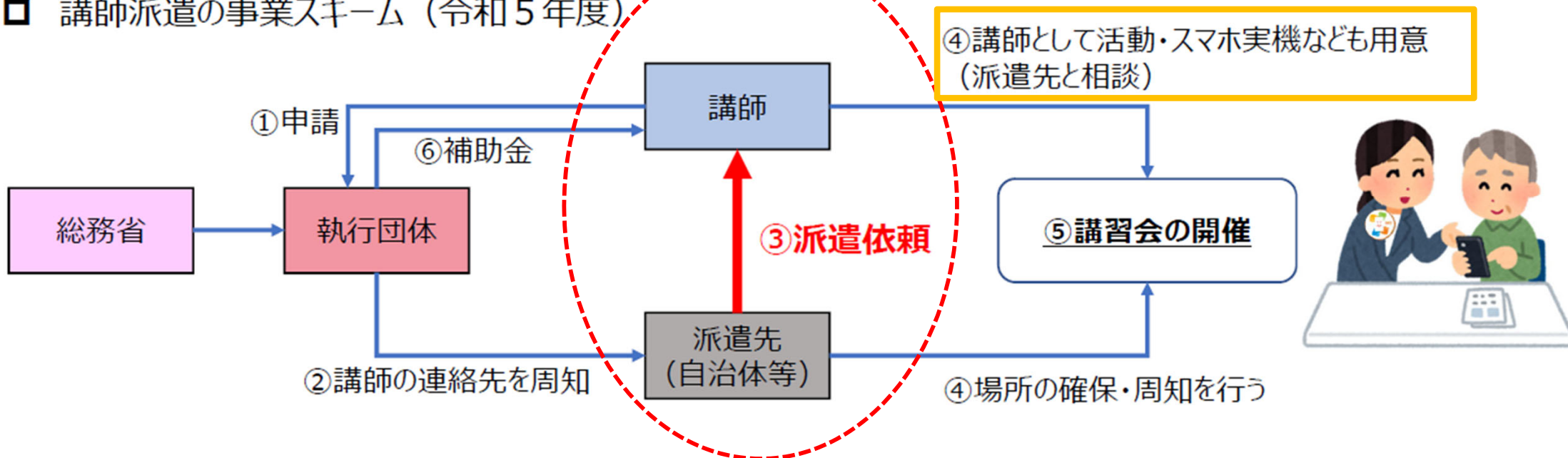


デジタル活用支援推進事業の講師を、携帯ショップがない市町村などに派遣して支援を実施

# 「デジタル活用支援推進事業」(講師派遣型)のスキーム

- 全自治体で「**講師派遣型**」による講習会が実施可能。
- 講師の派遣を依頼できる主体は、**都道府県、市区町村、教育委員会、学校、シルバー人材センター、社会福祉協議会、金融機関**。
- 派遣先（自治体等）が、派遣講師所属団体（携帯キャリア等）に直接連絡し、講習会実施日、実施コマ数や受講者人数等を派遣講師と調整することが可能。
- 貸出用スマホは派遣講師（携帯キャリア等）が準備。

## 講師派遣の事業スキーム（令和5年度）



# 四国における「デジタル活用支援推進事業」の実施状況

- 四国管内では、「デジタル活用支援推進事業」(全国展開型 + 地域連携型)の講習会について、令和3年度に37市町村、令和4年度には45市町において開催(2カ年度で48市町村において開催済)。
- 令和5年度は59市町村(新規11)で開催予定。このほか「講師派遣型」も実施予定。

## 令和5年度 四国管内における実施予定

- 全国展開型** 携帯4キャリアが54市町で順次講習会開催。
- 地域連携型** 7者が23市町(上記と重複あり)と連携して実施。

	実施主体 (携帯ショップ運営会社)	実施地域
徳島	e-とくしま推進財団	勝浦町、北島町、那賀町
香川	(株)たかせんテレコム	観音寺市、丸亀市、東かがわ市、さぬき市
	(株)サクセス	坂出市
愛媛	(株)モバイルコム	松山市、宇和島市、今治市、四国中央市、砥部町、松前町、新居浜市、西条市、大洲市、内子町、西予市、東温市、八幡浜市
	松山市シルバー人材センター	松山市
高知	(有)ゴクローサン	黒潮町
	リングロー(株)(ICT関連)	中土佐町

## 【参考】令和4年度「地域連携型」実施例(周知チラシ)

◆徳島県北島町の例  
(実施主体：e-とくしま推進財団)

◆高知県黒潮町の例  
(実施主体：ゴクローサン)

**e-とくしま**

### スマホ体験教室

～スマホをもっと使いこなしたい方へ～

既にお持ちの方も、これから使いたい方もどなたでも参加OK！参加費は無料です！

**日時**  
9月12日～10月31日の間  
毎週月曜日14:00～16:00

① 9月12日  
② 9月26日  
③ 10月 3日  
④ 10月17日  
⑤ 10月24日  
⑥ 10月31日

計6回連続しての受講をお願いします

**会場**  
会場名 北島町役場5階研修室  
住所 北島町中村字上地23番地1

**募集**  
先着10名(定員になり次第、締め切りとさせていただきます)

9月5日 8時20分から電話受付開始  
申し込み先：北島町社会福祉課  
Tel:088-698-9802

※体験いただくスマホは準備します

主催)公益財団法人e-とくしま推進財団  
共催)北島町

基本的な使い方からカメラ・地図の操作やLINEでのビデオ通話マイナポイント取得まで目指していきます！

**スマートフォン教室のお知らせ** 参加無料

スマホの基礎から、分かりやすく理解できる無料教室です。スマホを使った健康増進サービス「健康パスポート」の活用まで、楽しくいっしょにマナビしましょう！

紙のパスポートからスマホへ切り替え！

## 高知家 健康パスポート

おトクをたのしみながら健康な生活へ！

**【スマートフォン教室の実施内容と開催時間】**

- ①【基礎講座】電源の入れ方、基本的な操作方法  
10月3日 14:30～15:30
- ②【基礎講座】アプリのインストール方法  
10月3日 15:40～16:40
- ③【応用講座】健康パスポートの使い方  
11月7日 14:30～15:30

※スマホをお持ちでない方には貸出しあります。  
※教室内で使うテキストは、持ち帰ることが出来ます。

開催日時：10月3日(月)・11月7日(月) **定員:10名様**

開催場所：あつたかふれあいセンターこぶし **事前申込みが必要です**

申込先：黒潮町役場 地域住民課 保健センター 電話：55-7373

講師派遣元：トコモショップ四万十東店 電話：0880-34-5963

令和4年度利用倉向けデジタル活用支援推進事業/実施事業者：有限会社ゴクローサン

(各ホームページ掲載資料を転載)

- 本事業の周知広報のため、「デジタル活用支援推進事業」のポータルサイトを開設。
- 公募情報、FAQ、実施ガイドライン、研修実施要領等を掲載。
- 講習会の開催情報の検索・閲覧が可能となっているほか、教材・動画も掲載（参加費無料の講習会で活用可能）。



HOME 講習会 標準教材・動画 事業説明 地方公共団体の方へ

## デジタル活用 支援推進事業とは？

高齢者をはじめとした様々な方が身近な場所で身近な人からデジタル機器・サービスの利用方法を講習会で学ぶことができます。

スマートフォンを使いこなしたい、オンラインで行政手続を利用したい、という方は講習会の開催情報を検索し、お近くの開催場所で「デジタル活用支援講習会」に参加してみましょう。

[デジタル活用支援推進事業の詳細はこちら](#)

### デジタル活用支援講習会の検索

「デジタル活用支援講習会」の開催場所を調べることができます。

### 標準教材・動画

講座で使用する教材の入手や、スマホ講座の動画の視聴ができます。

閲覧者の目的・関心に応じ、

- ① 受講者向け、
- ② 地方公共団体向け、
- ③ 事業実施団体（講師）向けの情報を掲載・提供。



ポータルサイト

[\(https://www.digi-katsu.go.jp/\)](https://www.digi-katsu.go.jp/)

- 「全国版救急受診アプリ (Q助) の利用方法」講座では、救急車の適時・適切な利用の重要性について正しく理解するとともに、「全国版救急受診アプリ (Q助) 」を用いた緊急度判定の方法を習得することを目標とする。



## 標準教材の抜粋

**全国版救急受診アプリ(Q助)を使って病気やけがの緊急度を判定しましょう**

令和5年1月

**目次**

<b>1. 全国版救急受診アプリ(Q助)を知りましょう</b>
A. 救急車の適時・適切な利用の重要性…………… P 4
B. 全国版救急受診アプリ(Q助)とは…………… P 5
C. 救急車の適時・適切な利用に関する参考情報…………… P 6
D. 全国版救急受診アプリ(Q助)の利用手順…………… P 7
<b>2. 全国版救急受診アプリ(Q助)利用の準備をしましょう</b>
A. 全国版救急受診アプリ(Q助)のインストール…………… P 9
B. 利用登録のしかた…………… P 11
<b>3. 全国版救急受診アプリ(Q助)を利用しましょう</b>
A. 緊急度判定のしかた…………… P 15
B. 医療機関・受診手段の検索のしかた…………… P 20

### 1-A 救急車の適時・適切な利用の重要性

生命に関わる病気やけがは、何の前触れもなく起こることがあります。

突然の発症には、早期の通報や救急隊による適切な処置、早期の病院搬送等が、救命につながります。

地域の限られた手段である救急車が必要なときにつけられるよう、適時・適切な利用が重要です。

### 2-B 利用登録のしかた

利用登録を行います。

- ホーム画面から「Q助」のアイコンをタップ
- 利用規約が表示されますので、内容を確認して「利用規約に同意する」をタップ

### 3-A 緊急度判定のしかた

「いますぐ救急車を呼びましょう」が表示された場合は、緊急度が高いので、すぐに119番に電話してください。

- すぐに救急車を呼ぶ場合は「119番に電話する」をタップし、「はい」を選択  
※音声による通報が困難な場合は、Net119緊急通報システムを利用できます。  
※Net119緊急通報システムの利用にあたっては事前に予約が必要となります。
- QRコード Net119緊急通報システムの概要、導入地域  
[https://www.ftma.go.jp/mission/enrichment/kyukyumusen\\_kinokuyuhou/net119.html](https://www.ftma.go.jp/mission/enrichment/kyukyumusen_kinokuyuhou/net119.html)

オペレーターと会話する際は、必要に応じて「選択した症状」を確認

### 3-B 医療機関・受診手段の検索のしかた

受診手段を検索します。

- 全国タクシーガイドが表示されますので、「ご希望のタクシーをお選びください」で「救急・救護タクシー」にチェック
- 画面を下にスライドさせ、「タクシーを利用される都道府県をお選びください」で「都道府県を選択して下さい」をタップし、検索したい都道府県をタップ  
※電話を利用する場合は、通話料がかかります。  
※電話の音声利用が難しい方は、電話リレーサービスを利用することも可能です。

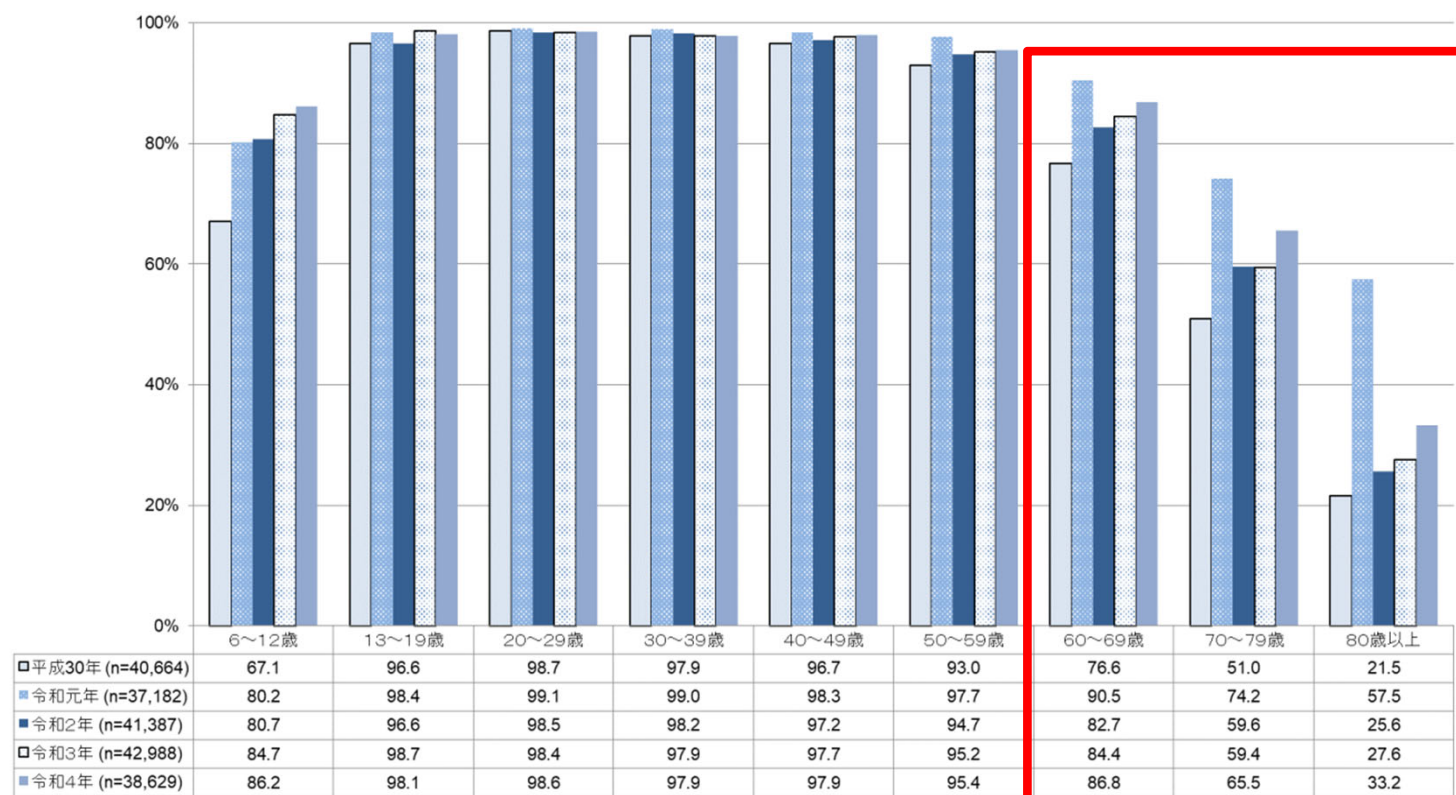
＜都府＞全国タクシーガイド  
<http://www.taxi-guide.jp/>



# 【参考】インターネットの利用状況

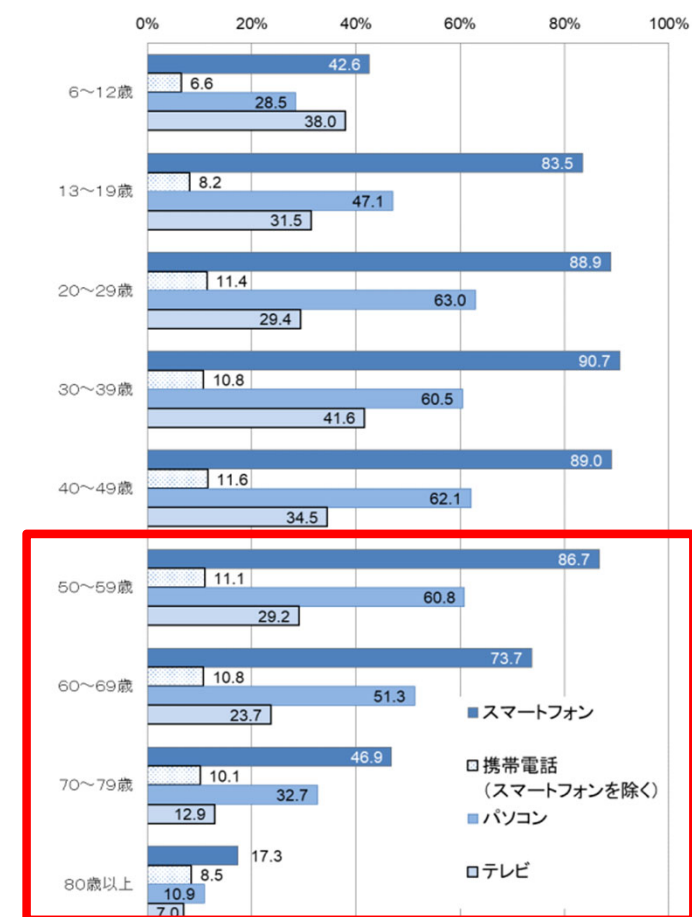
- 社会全体のデジタル化が進められる中、デジタル技術を使いこなせる方々と使いこなせない方々との「デジタル格差」の解消が重要な政策課題となっている。
- 高齢者のインターネット利用状況は、他の年齢層に比べ低いながらも増加傾向。特にスマートフォンは個人が手軽にオンライン手続きを行うことができるツールであり、必要とする人に十分な支援を行き渡らせることが急務。

### 年齢階層別インターネット利用状況の推移



(注) 令和元年調査については調査票の設計が一部例年と異なっていたため、経年比較に際しては注意が必要。

### 年齢階層別インターネット端末の利用状況



(注) 主な利用機器のみ記載。

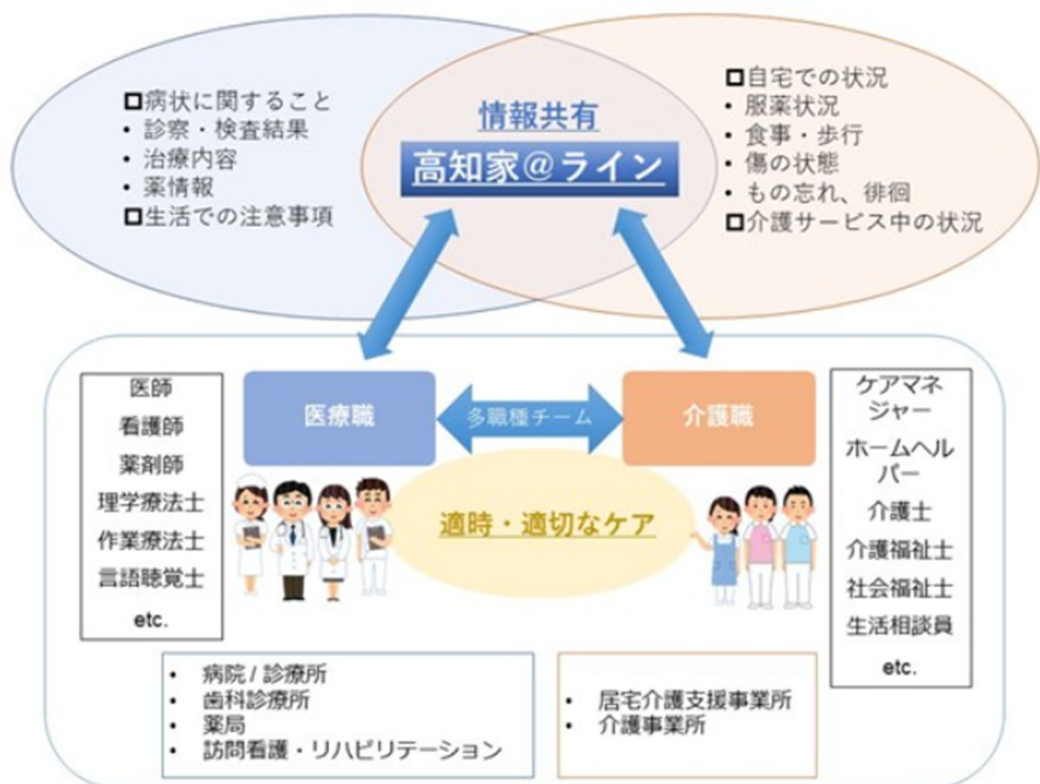
# 【参考】医療・介護分野におけるICTを活用した情報共有の事例



高知医療介護情報連携システム

## 高知家@ライン

- 「高知家@ライン」は複数の事業所間で医療職と介護職が在宅療養者のケアを行う上で必要な情報を互いに共有し、適時・適切なケアを実践することを目的としたICTを活用した情報共有システム。2017年より運用。
- 複数の事業所間において文書、写真・動画の活用により正確な情報を迅速に共有すること、豊富なコミュニケーション機能により多職種が共通認識を持ち、チームとなってケアに取り組むことを可能とする。



(高知大学ホームページ「高知家@ライン」掲載資料より四国総合通信局作成)

<http://www.kochi-u.ac.jp/kms/careline/explanation.php>

- 四国総合通信局主催セミナー（R4.3）のパネルディスカッションにおいて、「高知家@ライン」の関係者等が登壇。地域包括ケア等におけるICT活用の課題等について意見交換。

## 中山間地域等の課題解決に向けたICT利活用セミナー

～ デジタルインフラの活用による四国の産業発展、地域づくりを推進～

四国における「デジタル田園都市国家構想」の実現に向けて、中山間地域等における課題をICTにより解決する先進的な取組を紹介し、光ファイバ、5G等デジタルインフラの利活用による地域の成長について考えるセミナーを、オンライン及び高知県内2会場にて開催します！スマート農業や遠隔医療等のソリューション展示や相談会も実施します。

【日時】令和4年3月22日（火）14:00～17:00

現地会場：高知市文化プラザ かるぽーと 小ホール【定員50名】

安芸市女性の家【定員30名】

オンライン配信（Zoomウェビナーによるライブ配信） 参加費：無料



同時開催

### 16:10～ パネルディスカッション2： 安心して住み続けられる地域づくり～医療、地域包括ケアにおけるICT活用

コーディネータ：	愛媛大学 社会連携推進機構 教授	坂本 世津夫 氏
パネリスト：	高知大学 教育研究部医療学系連携医学部門 准教授	宮野 伊知郎 氏
	高知県 安芸市 市民課 地域包括支援センター所長	門田 将樹 氏
	株式会社mano A mano 代表取締役（訪問介護関係）	釣井 民子 氏
	高知県 室戸市 地域医療対策課長	松下 善徳 氏
	高知県 日高村 企画課 主幹	安岡 周総 氏
	四国総合通信局 総括調整官	日野 素臣 氏



主催：四国総合通信局、四国情報通信懇談会 共催：高知県、(一財)全国地域情報化推進協会 (APPLIC)  
 後援：中国四国農政局、四国厚生支局

(セミナー開催案内チラシ、同実施報告（四国総合通信局）より)

# 【参考】デジタル活用支援推進事業関連の政府方針①

## ○ デジタル社会の実現に向けた重点計画（令和4年6月7日閣議決定）（抄）

### 第2 デジタルにより目指す社会の姿

#### 4. 誰一人取り残されないデジタル社会

「皆で支え合うデジタル共生社会」の環境整備に向けた具体的な施策

- ⑤ **高齢者や障害者等への支援**（機器等の利用が困難な人には手助けを行う仕組みも含む。）に当たっては、**身近な者が継続して支援**できることが重要である。その際、**スマートフォン等の基本的な操作方法だけでなく、それで何ができるのか**（オンライン行政手続、身体機能の維持向上、一人暮らしの高齢者の見守り等）**もきめ細かく支援**することが必要である。

### 第4 デジタルにより目指す社会の姿

#### 1. 誰一人取り残されないデジタル社会の実現

##### ③ 皆で支え合うデジタル共生社会の実現

**高齢者等が、身近な場所で身近な人からデジタル機器・サービスの利用方法を学ぶことができる環境作りを推進する「デジタル活用支援」事業に重点的に取り組み**、これまでのデジタル活用支援による全国の携帯ショップや地域の ICT 企業、社会福祉協議会、シルバー人材センター、公民館等での講習会等の実施の成果を踏まえつつ、更なる質・量の向上を図り、地方公共団体や教育機関等とも密接に連携し、地域のサポート体制を確立し、幅広い取組を国民運動として促進するとともに、このような取組を定着させるための方策を検討する。

## ○ 新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画（令和4年6月7日閣議決定）（抄）

### V. 経済社会の多極集中化

#### 1. デジタル田園都市国家構想の推進

##### （1）デジタル田園都市国家の実現に向けた基盤整備

##### ① 光ファイバ・5G・データセンター等の全国津々浦々への整備

**高齢者などデジタル技術に不慣れな方が身近な場所でデジタル機器の使用方法を学べるようにするため、デジタル推進委員を配置し、誰一人取り残されないデジタル化の実現を目指す。**

## ○ 新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画・フォローアップ（令和4年6月7日閣議決定）（抄）

### Ⅲ. 経済社会の多極集中化

#### 1. デジタル田園都市国家構想の推進

##### （1）デジタル田園都市国家の実現に向けた基盤整備

##### （全国津々浦々へのデジタル整備）

高齢者等のデジタル活用の不安解消に向けて、民間企業や地方公共団体等と連携し、**オンラインによる行政手続などのスマートフォンの利用方法に関する助言・相談等の対応支援を全国において引き続き実施**するとともに、携帯電話ショップのない地域を含め、講師派遣を実施する。

# 【参考】デジタル活用支援推進事業関連の政府方針②

## ○ 経済財政運営と改革の基本方針2022 新しい資本主義へ（令和4年6月7日閣議決定）（抄）

### 第2章 新しい資本主義に向けた改革

#### 1. 新しい資本主義に向けた重点投資分野

##### （5）デジタルトランスフォーメーション（DX）への投資

我が国経済の持続的かつ健全な発展と国民の幸福な生活の実現に寄与するデジタル社会の形成に向け、デジタル庁を中心に、政府全体で、「デジタル社会の実現に向けた重点計画」に基づき、デジタル3原則を基本原則としつつ、**行政のデジタル化を着実に推進**する。

## ○ デジタル田園都市国家構想基本方針（令和4年6月7日閣議決定）（抄）

### 第2章 デジタル田園都市国家構想の実現に向けた方向性

#### 1. 取組方針

##### （4）誰一人取り残されないための取組

###### ① デジタル推進委員の展開

**高齢者等が、身近な場所で身近な人からデジタル機器・サービスの利用方法を学ぶことができる環境づくりを推進する「デジタル活用支援」事業に重点的に取り組み**、これまでのデジタル活用支援による全国の携帯ショップ、地域のICT企業、社会福祉協議会、シルバー人材センター、公民館等での講習会等の実施の成果を踏まえつつ、更なる質・量の向上を図り、地方公共団体や教育機関等とも密接に連携し、地域のサポート体制を確立し、幅広い取組を国民運動として促進するとともに、このような取組を定着させるための方策を検討する。

### 第3章 各分野の政策の推進

#### 4. 誰一人取り残されないための取組

##### （4）誰一人取り残されないための取組

###### （2）デジタル活用に不安のある人への支援

###### (b) 高齢者等に向けたデジタル活用支援の推進

**高齢者等のデジタル活用の不安解消**に向けて、**オンラインによる行政手続などスマートフォンの利用方法に関する講習会を2021年度から全国の携帯ショップ等で実施**している。**2021～2025年度の5年間での実施を想定し、2022年度以降は携帯ショップがない市町村を念頭に講師派遣も開始**する予定である。また、地方公共団体による地域におけるきめ細かなデジタル活用支援の取組を促進する。（総務省情報流通行政局情報流通振興課情報流通高度化推進室、自治行政局地域情報化企画室）

## ○ デジタル田園都市国家構想総合戦略（令和4年12月23日閣議決定）（抄）

### 第2章 デジタル田園都市国家構想の実現に必要な施策の方向

#### 1. 取組方針

##### （4）誰一人取り残されないための取組

###### ① デジタル推進委員の展開

**高齢者等のデジタル活用の不安解消**に向けて、**身近な場所でスマートフォンを経由したオンライン行政手続等に対する助言・相談等を実施するデジタル活用支援推進事業に組み込み**、これまでのデジタル活用支援による全国の携帯ショップ、地域のICT企業、社会福祉協議会、シルバー人材センター、公民館等での講習会等の実施の成果を踏まえつつ、更なる質・量の向上を図る。

## **2. 医療・ヘルスケア分野におけるICT活用の推進**

～ **総務省「地域デジタル基盤活用推進事業」等の採択事例について**

## ●『地域課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証』（令和4年度で終了）

ローカル5Gのより柔軟な運用の実現及び低廉かつ安心安全なローカル5Gの利活用の実現に向け、令和2年度から、現実の様々な利用場面を想定した多種多様な利用環境下において、電波伝搬等に関する技術的検討を実施するとともに、ローカル5G等を活用したソリューションを創出する「課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証」を実施。

### 医療・ヘルスケア分野の採択事例(全国)

実証件名	主たる実施地域	代表機関
ローカル5Gを活用した地域モビリティによる遠隔高度医療サービス提供に関する実証	北海道岩見沢市	東日本電信電話株式会社
ローカル5Gを活用した院内外の次世代薬剤トレーサビリティ及び医療従事者の業務改善の実現	群馬県前橋市	東日本電信電話株式会社
ローカル5Gを活用した大都市病院間の広域連携による救命救急医療の強靱化と医師の働き方改革の実現	神奈川県川崎市	トランスコスモス株式会社
<b>高精細映像伝送による院内ICU等の遠隔モニタリング及び救急医療連携の高度化に関する実証</b>	<b>徳島県徳島市</b>	<b>株式会社エヌ・ティ・ティ・データ</b>

(→ p 14参照)

令和4年度ローカル5G開発実証等 報告書 [https://go5g.go.jp/carrier/令和4年度ローカル5g開発実証等\\_報告書/](https://go5g.go.jp/carrier/令和4年度ローカル5g開発実証等_報告書/)  
 5G活用モデルの創出(動画、医療分野含む) <https://go5g.go.jp/carrier/>

## ●『地域デジタル基盤活用推進事業』（令和5年度から開始）

「デジタル田園都市国家構想」の実現に向けて、地方公共団体等によるデジタル技術を活用した地域課題解決の取組を総合的に支援。計画策定支援(無料コンサル)、実証事業(100%補助)、補助事業(1/2+地方債起債可)

現在、令和5年度補助事業の3次公募を実施中(10/6まで)。来年度も実施予定(令和6年度概算要求に計上)。

(参考)事業の概要 [https://www.soumu.go.jp/menu\\_seisaku/ictseisaku/ictriyou/digital\\_kiban/index.html](https://www.soumu.go.jp/menu_seisaku/ictseisaku/ictriyou/digital_kiban/index.html)

### 医療・ヘルスケア分野の採択事例(全国)

実証件名	主たる実施地域	代表機関
徳島県における高精細映像伝送による救急医療遠隔連携の高度化に関する事業 (→ p 15参照) (補助事業 1次公募採択)	徳島県徳島市 等	徳島県
ローカル5G等を活用した複数の地域かつ複数の救急病院間を跨ぐ救急医療の地域医療連携モデルの実現に関する実証(実証事業 1次公募採択)	徳島県徳島市	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所

実証事業の採択概要は、事業の概要ページにて今後公表予定→ [https://www.soumu.go.jp/menu\\_seisaku/ictseisaku/ictriyou/digital\\_kiban/index.html](https://www.soumu.go.jp/menu_seisaku/ictseisaku/ictriyou/digital_kiban/index.html)

『高精細映像伝送による院内ICU等の遠隔モニタリング及び救急医療連携の高度化に関する実証』

<b>実施体制</b> <small>(下線：代表機関)</small>	(株)エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所、NECネットエスアイ(株)、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ(株)、(株)アルム、徳島県、ケーブルテレビ徳島(株)、フクダ電子四国販売(株)、徳島大学病院、徳島県立中央病院、徳島赤十字病院、徳島県立海部病院	<b>実施地域</b> 徳島県徳島市、阿南市、小松島市、牟岐町 (徳島県立中央病院、徳島大学病院、徳島赤十字病院、徳島県立海部病院)
<b>実証概要</b>	近年、医療現場においては、医療機関で使用される無線通信機器間の電波干渉のリスクや、救急医療体制の逼迫、特に三次救急の医療機関に対する救急搬送の集中という課題が存在。 ➤ 病院にローカル5G環境を構築し、模擬環境下での無線干渉対策を踏まえた入院患者の遠隔モニタリング、救急車と搬送先病院間及び二次救急※病院と三次救急※病院間での4K映像を活用した患者情報の遠隔連携の実証を実施。 ➤ 高度な遠隔医療支援を通じ、都市部と専門医の不足する地域との間の医療連携の強化を実現。	
<b>主な成果</b>	➤ ローカル5Gによる遠隔モニタリングでは、従来のWi-Fiと比較して、無線通信機器間の干渉がなく、安定した映像品質で通信可能であることを確認。 ➤ 走行中の救急車と搬送先病院間、二次救急病院と三次救急病院間ともに、医療従事者が映像品質と遅延に違和感なく映像伝送可能であることを確認。 ➤ 救急患者に対する的確な処置、医師のサポートによる救急隊の心理的負担軽減、受入れ病院での処置開始時間の短縮に効果があることを確認。	
<b>技術実証</b>	➤ 単一の無線機ではカバーできない院内における不感地帯解消を目的とした分散アンテナシステムによるエリア構築や、同期局と準同期局が隣接した環境での干渉影響評価・干渉軽減手法の検討を実施。 ➤ 周波数：4.7-4.9GHz帯 (この間の100MHz) 構成：SA方式 利用環境：屋内	
<b>主な成果</b>	➤ 屋内カバレッジ設計の柔軟性向上手法として、光DASによる分散アンテナシステムは複数基地局を設置する方法を用いた場合と比較して、無線設計の容易性や伝送性能において優位であることを確認。複雑形状の実証エリア全域でDL380Mbps (目標値330Mbps) 以上、UL55Mbps以上を実現。 ➤ 同期局と準同期局が同一周波数で隣接した環境では、準同期側の移動機の最大送信電力を抑制することで干渉を軽減することを確認。	
<b>今後の展開</b>	本実証成果の実装に向けては、県下の消防および救命救急センターでのソリューション運用方法について検討が必要。令和5年度は関係者間でのソリューション運用方法を規定し、令和6年度以降、実証フィールドの消防本部および医療機関へ実装し、順次、県内の他の消防本部や基幹病院への展開を検討。	

※ 二次救急は入院や手術を必要とする患者に対する救急医療のこと。三次救急は二次救急では対応できない重篤患者や特殊疾病患者に対する救急医療のこと。

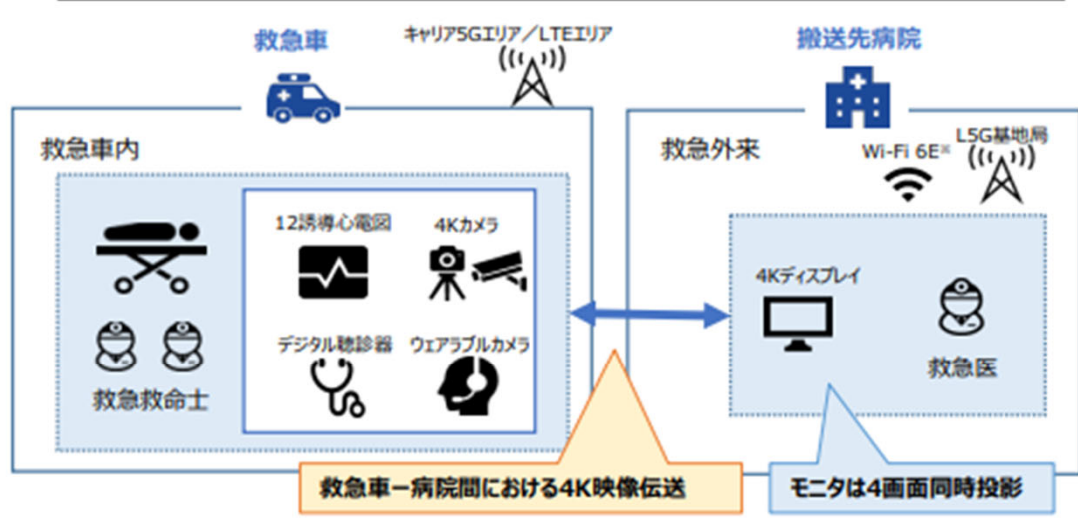


『徳島県における高精細映像伝送による救急医療遠隔連携の高度化に関する事業』（補助事業）

<b>実施体制</b> <small>(下線：代表機関)</small>	徳島県、ケーブルテレビ徳島(株)、NTTコミュニケーションズ(株)、(株)NTTデータ経営研究所、阿南市消防本部、鳴門市消防本部、海部消防組合消防本部、徳島県立中央病院、阿南医療センター、徳島県鳴門病院、徳島赤十字病院、徳島県立海部病院		<b>実施地域</b>	徳島県徳島市、徳島県阿南市、徳島県鳴門市、徳島県小松島市、徳島県海部郡	
<b>整備する通信インフラ</b>	〆ーカル5G、Wi-Fi6E	<b>主な補助対象機器等</b>	L5G DASRU、アンテナユニット、スイッチ等 Wi-Fi 6E AP、ルータ、エンコーダ・デコーダ	<b>目標</b>	〆 実装後5年以内に3次救急への搬送割合を10%低減する
<b>事業概要</b>	徳島県の救急医療では、3次救急病院に搬送が集中する傾向にあり、救急医療に係る医療従事者の業務量増加に繋がっているという課題が存在。 〆 〆ーカル5G、Wi-Fi6E及びキャリア5Gを活用し、救急車-搬送先病院間、2次救急-3次救急間に4K映像伝送システムを導入する。 〆 令和4年度の総務省「課題解決型〆ーカル5G等の実現に向けた開発実証」で医療視点での有効性を検証したため、他医療機関への横展開を実施。 〆 救急隊のメディカルコントロールの質向上と2次救急において軽症者を適切に処置することで、3次救急への救急搬送の集中回避と、転院搬送の緩和の実現を図る。				

ソリューション概要図

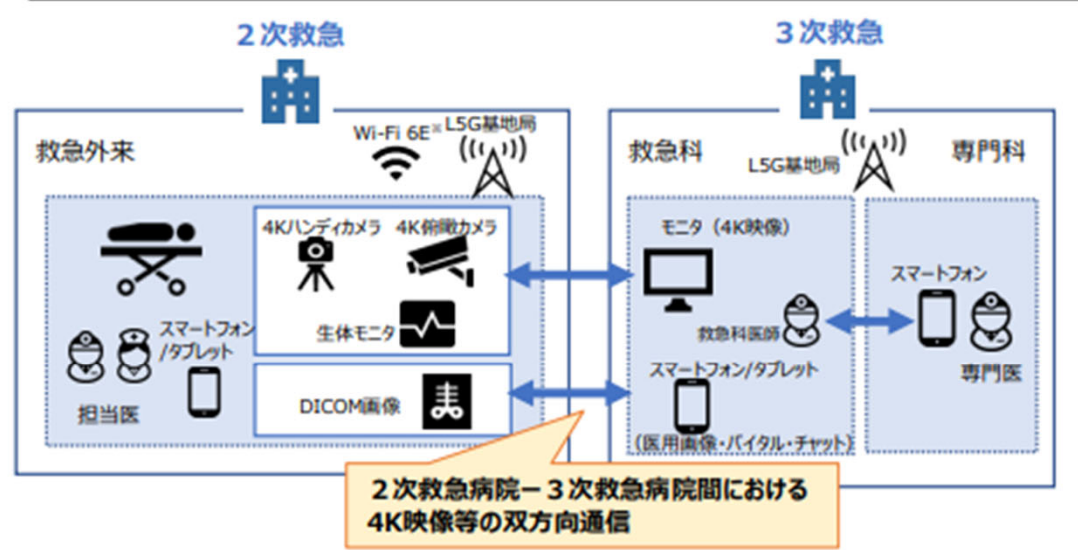
救急車-搬送先病院間の4K映像伝送システム



※一部の医療機関では、〆ーカル5Gの代替としてWi-Fi 6Eを使用し、機能を検証

**効果**  
 映像・心電図等のデータを共有しながら、遠隔の救急医によって、救急隊員への助言が可能に  
 ⇒メディカルコントロールの質が向上

2次救急-3次救急間の4K映像伝送システム



**効果**  
 映像・バイタル等のデータを共有しながら、2次救急医師に対して、3次救急の専門医が遠隔でコンサルテーション可能に  
 ⇒軽症者への適切な処置、転院搬送判断の適正化につながる